

S S T L

NO. 78 22.12.2

職場参加ニュース



共に働く街を創るつどい 2022

2022年12月3日(土) 13:00~16:00

@越谷市中央市民会館5階第4~6会議室

会費: 会員 500円/非会員 700円(資料代)

パネルディスカッション:
「障害者の職場参加」の水脈から
地域共生の現在を探る

パネリスト:

- 木村俊彦さん(キャベツの会事務局長、元新座市職)
- 猪瀬良一さん(見沼田んぼ福祉農園代表)
- 猪瀬浩平さん(NPO法人のらんど代表理事、明治学院大学教授)
- 沖山稚子さん(相談支援事業所【世一緒】所長、元障害者職業総合センター主任研究員)
- 堀上 秀さん(たそがれ世一緒管理人、元重度障害者職業自立協会の店吐夢亭店長)

コメンテーター:

- 内田元洋さん(越谷市地域共生推進課副課長)
- 黒沢和人さん(越谷市障害福祉課副課長)

コーディネーター: 朝日雅也さん(埼玉県立大学教員)

パネルディスカッション終了後、「2022年度共に働く街をめざす自治体提言」の発表があります。

主催: NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

後援: 越谷市・春日部市

手話通訳依頼中

お問い合わせ: 職場参加ビューロー 世一緒 048-964-1819 (FAX 共
要9回コール) メール: shokuba@deluxe.ocn.ne.jp

「障害者の職場参加」の水脈から
地域共生の現在をたどる



「障害者の職場参加」の水脈から

地域共生の現在をたどる

「障害者の職場参加」とは、一般には聞きなれない言葉でしょう。埼玉発信の言葉なのです。

「障害者雇用」、「障害者の就労」という言葉ではくりきれない中味とは何でしょうか。それは、**福祉的な支援や周りの人々の手を借りながら、重度の障害者が職場に入ってゆき、他の人々と共に働くこと。そのことを通して、職場で働いている障害のない人々が、重度障害者とじかに出会い、共に働くことを通して、職場を地域にひらいて行くこと**です。

「職場参加」の考え方は、埼玉県障害者雇用推進協議会が、県知事、労働大臣に提出した地域障害者雇用推進総合モデル事業報告書に、盛り込まれています。当時の労働省は1993年から5年間にわたり、埼玉県ほか全国3ヶ所で地域障害者雇用推進総合モデル事業を実施しました。

この事業の目的は、福祉施設入所者や養護学校卒業後作業所に通所している障害者、さらに移動困難な障害者等、これまでの雇用対策では対応困難だったより重度の障害者の職業的自立でした。埼玉県では新座市をはじめとする西部地区8市で行われました。

この事業は結局めざましい成果を上げられずに終わったのですが、委員として参加した障害者団体等が中心となって、「雇用」と「福祉」の深い谷間に橋をかける「職場参加」を柱とした提言をまとめました。そのベースには、当時**新座市のキャベツの会**が関わるよろづやをはじめ、西部地区の各地域で**重度障害者とボランティアによる店づくり**の経験がありました。そこではお客さん自身に計算をしてもらったり、時には隣の店の人に介助をお願いするといった関係があり、それが街を元気にもしていました。地域の職場の中にも、こんな形で入ってゆけないかと。

また、それをコーディネートする主体として市町村の重要性を指摘しました。そして、**市町村が役所で重度障害者を含む職場体験**を行い、支援のありかたを模索しながら、地域の企業、団体等でも共に働く街づくりへつなげてゆくべきで、県、国はそのための環境整備をしてほしいという提言をまとめました。

埼玉県が、全国的にも東京都以外にはない**市町村型就労支援センター事業**を実施した原点に、この提言があったのです。

いっぽう、越谷市ではまず「障害者地域適応支援事

業」を実施し、市役所内の職場体験を重ねた後に、第2段階として就労支援センターを立ち上げ、当会受託のセンターに事業を引き継ぎました。

この地域適応支援事業は、10年後に受託が変わってからも続き、今年で22年目になります。

「職場参加」の推進母体だった**新座市のキャベツの会**は、一般には高齢者等が主になっている「地域福祉」の取組に、障害者や若者、子どもが共に参加する取り組みを重ねています。そして、「高齢者が**職場参加**支援者となれる研修」や「市役所職員が地域活動のボランティアに参加できる仕組み」などのアイデアも出されています。

キャベツの会と共に長年「共に学ぶ」取組を重ねてきた浦和の**ぺんぎん村**は、「共に生きる地域」の具体的なかたちとして、乱開発の危機にあった見沼たんぼでの「**福祉農園**設置」の要望を86年に行っています。そして、代表の猪瀬さんの長男良太さんが地元中学を卒業する前の87年に、近くに土地を借りて農園作りを始めました。

猪瀬さんらは、良太さんの中学卒業に際して他の知的障害の卒業予定者2人とともに、**地域の公立高校**への入学を県に求めて、全県の取り組みを開始します。入学まで6年かかりましたが、その過程で高校への自主登校や障害者職業センターの支援を受けての職場実習等も試みました。

県が見沼たんぼ公有地化事業の中に位置付けて、**見沼たんぼ福祉農園**が開園したのは99年でした。当初は障害者団体が区画を並べていましたが21世紀に入り数が減り、代わって若者たちの「風の学校」やロータリークラブ、さらに朝鮮学校有志などの縁が結ばれ、**地域福祉、環境福祉の場**となっています。これらの団体等は休祭日に耕作していますが、彼らからすれば平日に農園作業をしている地域活動支援センター「**農(あぐり)**」の障害者達がボランティアをしてくれている感覚といいます。

この感覚は、のちに述べる「**職場参加**」の双方向性と重なってきます。

越谷での「**職場参加**」の源流は87年の「重度障害者職業自立協会の店吐夢亭」ですが、同協会の社長は全国の障害者運動の代表を務めた川口市の故八木下浩一さんでした。

97年に市立病院組合事務所でデイケアパタパタの知的障害者白倉さんが職場実習を行った時は、市職員組合が受け入れ企業となり、職員OBが職業支援パートナーを務め、埼玉障害者職業センターのみなさんが**職域開発援助事業**として認め、関わってくれたことにより実現しました。今回樋上さんとともに当会からのパネリストを務める沖山さんは、障害者就労支援の草分けであり、当時**障害者職業センター**職員として新座の障害者たちの**職場参加**(所内清掃)を受け入れたりと、猪瀬良太さんの職場実習支援にも関わりました。

NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会も、障害者と支援者サイドだけでなく、企業主である故鈴木さんが代表を務めていただいていたのでした。

当会は発足以来、「**職場参加**」とはたしかに「**障害者が職場に参加**すること」だが、そのことを通して同時に「**職場が障害者に参加**すること」も含むと強調してきました。会の成り立ち自体、互いに目的を異にする関りが重なった結果だったのです。

沖山さんも長年の**就労支援**の経験の中から、「福祉や教育はどうしても本人の側にだけ着目してしまう、でも**本人は変わらなくても、向こう側が慣れてゆくという面もある。**」と述べています。

新代表理事の尾谷さんが社長を務める㈱ニューオタニは、かつて廃業やむなしの事態になった時、障害者従業員と家族達から「無給でいいから続けて」と訴えられ苦悩の末に再スタートしました。それから四半世紀。同社は社長夫妻と障害者社員の少数精鋭でがんばっていますが、同時に「フレンドリー春日部」、「春日部市カヌー協会」等**地域の障害者も含めたスポーツ**

、**街づくり**の中心で活躍しています。

当会の今年の総会記念シンポジウムに登壇していただいた狭山市の門坂豊さんと母美恵さんも、豊さんが現在常勤として働いている会社がかって経営危機で閉鎖というとき、当時パートで働いていた豊さんが「ボランティアでいいから」と訴え、とりあえず残留させてもらったそうです。知的障害があり周りトラブルを繰り返しながら、小・中・高と**近所の友達と一緒に学び育**ってきた豊さんだからこそ、常にもめごとはあっても最後には解決できるということが刻み付けられているのだと語っていました。

「**無給でも共に働きたい**」という言葉の対極に、「共に働くのは無理だから分けて働こう」、「それも無理な重い障害者は介護の場で」という障害者雇用促進法、総合支援法の下での雇用・福祉の広がりがあります。

いまの障害者雇用の広がりには精神障害者が中心となっており、そのぶん身体障害者、知的障害者の比重が下がっています。また、知的障害の特別支援学級、特別支援学校の児童生徒数は急増しており、特別支援学校高等部では職業教育に力を入れているにもかかわらず、79年当時の就職率の半分にも達しておらず、福祉の場に滞留してゆく流れが増えています。

79年から40年余り、積み重ねられてきた分離教育の下で、社会に出ても互いにつきあい方がわからなくなった同士が、手探りで働きあう「**職場参加**」の取組を、埼玉だけでなく、全国各地の自治体、地域で取り組み**地域共生**の入り口を広げてほしいと思います。

併せて、教育のノーマライゼーションを!

2022年度会費、寄付、協力費、かきくけP費ご納入ありがとうございました


(五十音順、敬称略)

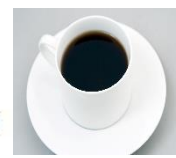
【2022年度会費】青木繁明 朝日雅也、石田貴美子、伊藤紀康、岩崎廣司、内野かず子、大坂富雄、大田ちひろ、大武昭、沖山稚子、尾谷英一、及木聡、黄川田仁志、木下恭子、越野操、佐藤恵美子、島根淑江、鈴木照和、関一幸、竹迫和子、田島玄太郎、巽孝子、巽優子、谷崎恵子、津崎悦子、辻浩司、友堅由紀恵、中山佐和子、並木理、野村康晴、橋本克己、長谷川顕、幡本洋子、原和久、原田真弓、樋上秀、日吉孝子、前田直哉、松田和子、松田典子、松山美幸、水谷淳子、谷塚祥子、山川百合子、山下浩志、山崎かおる、山崎茂、山崎泰子、山崎有子、吉田久美子、吉原広子 くらしセンターベしみ、共に働く街づくりセンターかがし座、生活支援センターえん

【寄 付】大坂富男、小野達雄、門坂美恵、小井戸恵子、斎藤信子、伝田ひろみ、高橋儀平、富沢一枝、長谷川顕、水谷淳子、野村康晴、山崎泰子

【運営協力費】原田真弓、幡本洋子、田島玄太郎

【かきくけプロジェクト】野村康晴

すいごごカフェ 11/30~12/21 1時半のゲスト 	
11月30日(水) 齊藤 一枝さん 独立ケアマネ	<h2 style="text-align: center;">大事ですヒヤリハット</h2> <p>まだ地域に高齢者介護がなかった時代に宅老所を共同運営し、障害者を含む介護現場を経て、心の病も経験し、独立ケアマネとして働く現在から過去にまとめたヒヤリハット事例が示している現場の危機と課題を語る。</p>
12月7日(水) 吉田 ももさん MIN 考える会	<h2 style="text-align: center;">私の小さい頃から今まで</h2> <p>重い障害をもち地域の小中学校で共に学び、通信制高校、新聞「風の色」発行、リサイクルショップ「夢テラス」運営(最近閉店)、書道展等・・・蓮田の街の有名人。お連れ合いとの結婚生活も20年近く。今語ることは</p>
12月14日(水) 樋上 秀さん たそがれ世一緒管理人	<h2 style="text-align: center;">サトウハチローと私</h2> <p>「ちいさい秋みつけた」等数多くの作詞者で母を慕う詩で有名なハチローは母を泣かせた不良少年。彼と自分を重ね生きてきたと語り永遠のマザコン少年を自称する樋上さんのハチローとの縁はハンパじゃなかった。</p>
12月21日(水) 水谷 淳子さん 耳鼻咽喉科開業医	<h2 style="text-align: center;">見えてきたコロナ、ワクチン</h2> <p>日本の死亡者数が急増。コロナワクチンとの関係が問題になりつつある。国立感染症研は医療ひっ迫によるとするが、それほどベッド不足があるか。ワクチン後死亡した多数の例の裁判も始まりそう。あらためて情報整理を</p>
この日はLunch Café どっこいしょ	
<h2 style="text-align: center;">すいごごカフェ/Lunch Café どっこいしょ</h2> <p>すいごごカフェもLunch Café どっこいしょ(第3水曜)も、NPO法人障害者の職場参加をすすめる会が主催する誰でも参加できるひろばです。Lunch Café は12:00からキッチンとまとのカレー(コーヒー付き300円)が食べられます。第1、2、3、5水曜の会場は、ハローワーク越谷向かいの職場参加ビューロー世一緒です(要予約048-964-1819)。どの日も13:30~15:00 ゲストトークがあります。街で生きる障害のある人ない人、いろんな人が語ります。第4水の会場は、せんげん台イオン並びの就労移行・B型多機能「世一緒」です。(せんげん台048-971-8038)</p>	



コラムことや

~最近ハマっているもの~



最近合唱曲にはハマっています♪
 親戚や友達、学生さんなどいろんな人の前で合唱曲を流したいです！是非聞きに来ていただくと私は嬉しいです

私の音楽プレイヤーにはなんと121曲の合唱曲を入れています♪
 特に「翼を広げて」が好きで私の指揮がノリノリになります♪
 (世一緒の利用者さんの前で指揮をすると「大野くん 指揮うまいね」と誉められて嬉しかったです)

他にも私の音楽プレイヤーには色々な音楽が入っています
 ハードオフのBGM やラジオ体操、
 昭和歌謡や洋楽 演歌 クラシック 拍手の効果音など合計319曲(合唱曲含む)が入っています



私はなんとBluetoothスピーカーを2つ持っています♪
 私のBluetoothスピーカーはなんと36時間使えます♪
 そのうち1つはカバンの中に入れていつでも使えるようにしています
 By 大野 言弥

福島民友新聞社より「ふくしま未来デザイン」の参考事例として、当会尾谷代表理事が取材いただきました。

ま未来デザイン 第2部 共生社会 ④障害者の社会参加

働くことが生きがいに

誰一人取り残さない社会を目指すために、地域の中で障害者が生きがいをもって働ける職場をつくるのが重要です。「ふくしま未来デザイン」第2部共生社会第4回は、障害者が自ら職場を訪問し、就労への道をひらく活動をしてきた「NPO法人障害者の職場参加をすすめる会」(埼玉県)の尾谷英一代表理事(75)に、障害者雇用への取り組みや課題について伺いました。

障害者の職場参加をすすめる会

代表理事 尾谷英一氏

「障害者の職場参加をすすめる会」は、障害者、福祉関係者、参加支援を組み合わせて実施し、支援は広がっています。就労提案が始まったものです。就労

「活動について伺います。就労支援センター受託時代に本部で行っていた「仕事発見」

「就労支援センター」は、障害者が一人ひとりをサポートして、

「就労支援センター」は、障害者が一人ひとりをサポートして、

「就労支援センター」は、障害者が一人ひとりをサポートして、

「就労支援センター」は、障害者が一人ひとりをサポートして、

「就労支援センター」は、障害者が一人ひとりをサポートして、

「就労支援センター」は、障害者が一人ひとりをサポートして、

「就労支援センター」は、障害者が一人ひとりをサポートして、

「就労支援センター」は、障害者が一人ひとりをサポートして、

「就労支援センター」は、障害者が一人ひとりをサポートして、

「就労支援センター」は、障害者が一人ひとりをサポートして、

「就労支援センター」は、障害者が一人ひとりをサポートして、

「就労支援センター」は、障害者が一人ひとりをサポートして、

「就労支援センター」は、障害者が一人ひとりをサポートして、

「就労支援センター」は、障害者が一人ひとりをサポートして、



おたに・えいいち 1947年、新潟県小千谷市出身。クローカンパニーの選手として77年、埼玉県春日部市に「バリブアソニー」の自社工場を設立し、障害者雇用に取り組んできた。2022年から現職。



障害者(障害者の職場参加をすすめる会提供)

ました。街でも一緒に就労する人たちが、自分たちの力で生きていく。地域の人々が明るく暮らせるお手伝いを続けています。一障害者雇用に取り組む根拠には何かあるのですか。

高校時代からクロスカウンター、スキートの良き「バド」が親友の存在です。彼は大学時代にスキージャンプ競技の事故で半身不随になってしまいましたが、しかし、絶望的状况から人の何倍も努力を重ね、新潟大学で卒業し、就職先を確保し、

「活動について伺います。就労支援センター受託時代に本部で行っていた「仕事発見」

「就労支援センター」は、障害者が一人ひとりをサポートして、

「就労支援センター」は、障害者が一人ひとりをサポートして、

「就労支援センター」は、障害者が一人ひとりをサポートして、

職場参加ビュロー世一緒

2022. 11.1~2023.1.31 カレンダー

(2022年11月9日暫定)

2022年11月			2022年12月			2023年1月		
日	日中行事	ほか	日	日中行事	ほか	日	日中行事	ほか
1日	火		1日	木		1日	日	
2日	水	当番会議	2日	金	たそがれ	2日	月	
3日	木		3日	土	LS-ビジネス	3日	火	(水上公園フェック作業)
4日	金		4日	日		4日	水	
5日	土		5日	月		5日	木	
6日	日	わらび大バザー	6日	火		6日	金	
7日	月		7日	水	当番会議	7日	土	
8日	火	水上公園共同作業	8日	木		8日	日	
9日	水	提督水辺の市	9日	金	たそがれ	9日	月	
10日	木		10日	土	LS-ビジネス	10日	火	提督水辺の市
11日	金		11日	日		11日	水	当番会議
12日	土		12日	月	水上公園共同作業	12日	木	たそがれ
13日	日		13日	火		13日	金	
14日	月		14日	水	提督水辺の市	14日	土	
15日	火		15日	木		15日	日	
16日	水		16日	金	たそがれ	16日	月	水上公園共同作業
17日	木		17日	土	LS-ビジネス	17日	火	
18日	金		18日	日		18日	水	職場参加を語る会
19日	土		19日	月		19日	木	LS-ビジネス
20日	日		20日	火		20日	金	
21日	月		21日	水	職場参加を語る会	21日	土	
22日	火		22日	木		22日	日	
23日	水		23日	金	たそがれ	23日	月	
24日	木		24日	土	LS-ビジネス	24日	火	
25日	金		25日	日		25日	水	
26日	土		26日	月		26日	木	
27日	日		27日	火	第一様大掃除	27日	金	
28日	月		28日	水		28日	土	
29日	火		29日	木		29日	日	
30日	水		30日	金		30日	月	
31日	木		31日	土		31日	火	

LS-ビジネスは、素焼きの埴笛の絵付けと、その普及・販売のための研修や営業活動です。たそがれは、障害のある人や他の人々が日替わりゲストとなって、暮らしや仕事を語り継ぎます。あなたもどうぞ！

○茶色の字のスケジュールは、主に連携団体の主催行事で、一緒に参加できるものの紹介です。

内の福祉施設や団体の人たちが店番に来ている。

店番のメインの仕事は定点販売で、専用の台車にお菓



子などを乗せて庁舎内を移動するというもの。コロナの影響で庁舎の出勤率が減り、売り上げも減少し大打撃を受けている。かっぱで働いててそこから一般就労に行く方はほぼいない。一

般的な「働く」からは遠いかもしれないが、働く前の体験、働いた後の一休みみたいな場になればと思う。

す い ご ご F L A S H

●2022年7月13日 友堅由紀恵さん

(世一緒金曜日当番)



今は、毎週金曜日に職場参加ビューロー世一緒の当番をしている。脳性小児麻痺で、子どもの頃は外泊で家に帰る時以外はずっと施設で過ごした。兄も弟も施設に入っていて一緒に生活したことが無かったので、一緒に暮らしたいと思い、高校卒業後3年間一緒に暮らした。その後、同級生に誘われてわらじの会に入った。わらじのグループホームで過ごした後、大袋で一人暮らしを始めた。今年で17年目になる。

●7月20日 水谷淳子さん

(耳鼻咽喉科開業医)



耳って、きこえるだけじゃない。身体のバランスを保ったりするなどいろいろな働きがある。なので、耳鼻科は実はけっこう守備範囲が広い。鼻を強くかむ、耳掃除をし過ぎるなどは耳のトラブルにつながるので注意。最近マスク生活でマスクを着けたまま話すのが当たり前で、軽度の難聴の人がすごく困っている。あとは、コロナ禍で家にこもっていると誰とも話さないから、声が出なくなったというお年寄りがけっこういる。なんでも良いから日頃から声を出すようにした方がよいと思う。

●7月27日 板倉真紀さん

(県庁福祉の店「かっぱ」専従)

かっぱは1997年に開店した。毎月日替わりで、県

●8月3日 古迫千晶さん(文教大学学生)



中学生の頃父がうつ病に。家族は不安定な父と距離を取るようになっていった。高校卒業後、母と兄と私は母の実家に引越し、それから父とは会っていない。父の不安や悩みにもっと寄り添えられたら今とは違う状況になっていたかもしれないと思う。高校卒業後、心理学や福祉を学びたいと思い文教大学へ。昨年からはわらじの会に関わるようになり、色々な人との出会いが。介助とか諸々含め、「まずはやってみよう」という姿勢が身についた気がする。

●8月10日 関根秀夫さん(関根農珈)



21歳のときにコーヒーを生業とする店に就職した。豆を焼いたり、コーヒー教室を開いたり、店を開きたいと考えている人にノウハウを教えたりした。せんげん台で自分の店を開き、8年くらい続けた。その後は実家がある岩槻に戻り、両親と米を中心に農業をやっている。コーヒーと農業をどうにか繋げられないか考えていて、今はコーヒーのカスを回収して堆肥にし、畑に戻して野菜をつくるということをやってみたりしてい

世一緒スタッフ日記

11月

厳しいけれど楽しい

匿名

ソフトボールの練習は、きびしいです。えらーをおこすとおこられま
す。ノックはきびしいです。ソフト
ボールのまっついているところはショ
ートです。かんとくにほめられます。ソ
フトボールは、楽しみです。だれでも
入れます。

最近のできごと

青木 繁明

1週間から2週間台風のエイキョ
ウで体調をくずしたりした。9月の
8日から9日にかけて冠水に合った
り風のエイキョウで、カサが、おち
よこになって服がびしょびしょで急
変になった。身体が冷へこみせきや
鼻水がとまらなかつた風呂に入って
やつと一息した。
最近、身元不明の人が泊っていく
ようになつた。きた以上は、食事か
らタバコ等を用意しなければならな

世一緒では、障害や病氣その他の状況による働きづらさを、他の人々と共有し生きるために、世一緒に関わっている人々を「スタッフ」と呼んでいます。サポーター(非常勤やボランティア)の支えを受けて、世一緒の当番(ピアサポート実習)や「語る会」、身近な地域で必要とされる仕事(花壇整備、除草、ポスティング)のグループワーク等もしています。元スタッフ等からの近況報告も紹介します。その後世一緒台に就労移行支援・就労継続支援B型多機能事業所「世一緒」が開所しました。こちらは制度により定められた職員がおり支援サービスを提供する場となっています。当会は定められた支援ももちろん、自主事業の世一緒(越谷)と連携して、多様な就労やピアサポートを支援し地域で共に生きる輪を拡げてゆきます。



早く一人前に

萱場 由梨

世一緒を卒業して仕事をうまく
こなせていちにんまえになりた
いです。いいヘルパさんになれる
ようにがんばっています。

せんげん台世一緒

石丸 洋介

私、利用者の石丸洋介と申しあ

私の今年は。

森住

げますが、近況報告と致しまして
ここ一ヶ月位この寒暖差で最悪エ
アコンをかけても汗が出て過呼吸
状態になるほど体調不良ですが
色々と考え決めた日は必ず遅れて
も通所する事が大前提とし、無理
のない形でB型作業所で頑張つて
います。後、千間台世一緒で仲良
くしていた仲間が、一般就労に行
つてしまい、嬉しい反面、さみし
いです。私もこれからいっそう
体調管理を十分留意し一般就労に
勤めて行こうと思います。

もう10月、あと2ヶ月あまり
早いなー。35歳の私、来年、年女
かわいいうさぎ、かわいって何
年才まで言えるのでしょうか(笑)。
色々考えしんどくなる事もたく
さんあるけどまそんなときはくま
もとにいる、3才としうえのあね
ごKYさんに30分きいてもらい

電話と仕事

大野 言弥

きもちをリセットする私。です。
しゅうかつはがんばるけどそのほ
かはのんびりやっていきます。今
はほえてもかわりませんから。き
いてくれるやささえてくれる人に
かんしやしなごらですね。以上。

電話が好きは大野 言弥です。
家に電話を集めています。家に2
0台ぐらいあります。実際つなが
るのはもちろん1台だけです。
今は、キッチンとまると行くと
きは、朝早く起きられています
が、世一緒に行くときは起きられ
ません

YouTube再開

沖村 純一

こんげつからゆるちゅーぶたい
きゅうはいしんをさいかいします

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

